

# センター試験の英語における英語民間試験導入の効果と課題

— 広島大学におけるみなし満点方式を申請した志願者分析より —

竹内 正興, 永田 純一 (広島大学)

本研究は、大学入試センター試験（以下、共通試験）における英語民間試験導入の効果と課題について、広島大学のみなし満点方式に申請した志願者のケースから検討することを目的とする。分析の結果、みなし満点方式は、広島県内からの申請割合が高い傾向が見られた。また、申請した志願者の、実際の共通試験・英語の平均得点率は約 85% だったことがわかった。一方、申請した志願者の中には、共通試験・英語の得点率が 70% 未満の者が複数存在し、それらの者は、個別試験・英語の得点率も低い傾向が見られた。共通試験・英語の得点率が低い者の英語力については、今後、入学後の英語の成績との関連を検証する必要があるだろう。

キーワード：大学入試センター試験（共通試験）、みなし満点方式、英語民間試験

## 1 問題の所在

本研究は、大学入試センター試験（以下、共通試験）における英語民間試験導入の効果と課題について、広島大学のみなし満点方式に申請した志願者のケースから検討することを目的とする。

大学入試における英語民間試験の活用促進については、英語指導方法等改善の推進に関する懇談会（2001 年 1 月 17 日）、教育再生実行会議第三次提言「これからの大学教育等の在り方について」（2013 年 5 月 28 日）、中教審答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」（2014 年 12 月 22 日）、文部科学省「高大接続改革の進捗状況について」（2016 年 8 月 31 日）などに見られるように、これまで 20 年近くに渡って提言が繰り返されてきた。その後、受験生の経済的状況や地域格差をはじめとする多くの課題を引き続き検討する必要があることから、令和 2 年度大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入が見送られたものの（文部科学省 2019a）、文部科学省（2019b）は大学入試英語ポータルサイトを開設し、英語資格・検定試験の活用を促進している。

このような状況の中、世界トップ 100 の研究型大学をミッションとする広島大学は、グローバル人材の発掘・育成のための一つ的手段として、2016 年度入試より AO 入試で、2019 年度入試からは一般入試にも対象を拡大して英語民間試験を活用している（杉原ほか 2019）。活用方法は、「共通試験の外国語（英語）の得点を満点とみなす方法」、「出願要件と

する方法」、「加点する方法」、「合否判定の際に評価する方法」の 4 タイプある（表 1）。

表 1 広島大学 英語民間試験の活用状況（学部別）

利用方法 選抜方式 \\ 学部	共通テスト みなし満点	出願資格	加点	合否判定
	一般 総合型 学校推薦型	総合型	総合型 学校推薦型	総合型
総合科学部	○	△		○
文学部	○			○
教育学部	○		△	
法学部	○			△
経済学部	○			
理学部	○			△
医学部	○	△		
歯学部	○		○	
薬学部	○		○	
工学部	○		○	
生物生産学部	○		△	
情報科学部	○		○	

出典：令和 3（2021）年度広島大学入学者選抜に関する要項。  
学部の中の全募集単位で活用されている場合は「○」、一部の募集単位で活用されている場合「△」としている。総合型は、国際バカロレア型、帰国生型、社会人型を除く。

このうち、「共通試験の外国語（英語）の得点を満点とみなす方法」は、英語が得意な受験生のための希望者優遇制度として、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜の共通試験を課す全学部の全募集単位で活用されている。出願時に、CEFR 相当レベル B2 以上<sup>1)</sup>を証明する書類等の提出によって<sup>2)</sup>、共通試験・外国語（英語）の得点に関わらず、満点を保証する制

度設計となっている。このみなし満点方式の特徴として、「加点する方法」、「可否判定の際に評価する方法」と同様に、出願要件とはしていない点があげられる。あくまで、英語が得意な受験生のための希望者優遇制度であり、出願要件と比較した場合、受験生の経済的状況や地域格差に一定の配慮を行っているといえる。

また、このみなし満点方式のメリットとしては、受験生側に立った場合、「受験機会の複数回化（一発勝負ではなく高校3年間の努力が評価される）」、「英語に対する学習意欲の持続性」、「試験の結果に対する納得度の高まり」などがこれまで指摘されている（竹内 2018）。

本研究では、全学部の全募集単位で導入している共通試験・外国語（英語）のみなし満点方式について、申請した志願者の出身高校所在地都道府県別の割合から見た場合、志願者にとって出願のインセンティブとして機能しているのか、また、申請した志願者は、実際に共通試験・英語で満点に近い得点（本研究では得点率 90%以上を満点に近い得点と定義する）を取れているのかの二点を問いとして設定し、英語力が高い人材を獲得する手段となっているのかについて、広島大学のみなし満点方式に実際に申請した志願者の入試結果から検討する。

## 2 分析の概要

### 2.1 対象・時期

本研究では第1章で設定した問いを解明するため、2020年度入試における広島大学の共通試験・英語のみなし満点方式に申請した志願者（ $n=448$ ）を分析の対象とした。なお、志願者は延べ数としている。申請した志願者は志願者全体の 6.4%であり、2019年度入試よりも 50人、割合で見ると 1.5%増加している（表2）。また、入試日程別に見た場合、申請した志願者数は一般前期日程が 244人と最も多いが、割合としては一般後期日程が 8.0%と他の入試日程よりもやや高い結果となった（表3）。学部別では、A学部が申請した志願者全体の約 1/4 を占め最も多かった。A学部は、理系の学部である。また、B学部とC学部を合わせた3学部で申請した志願者全体の過半数を占める一方で、全ての学部で 10人以上の申請した志願者がいた。B学部は文理融合型、C学部は文系の学部である（表4）。

表2 みなし満点方式に申請した志願者（全体）

	申請者数	志願者に占める割合
2019年度	398	4.9%
2020年度	<b>448</b>	6.4%
差	50	1.5%

出典：広島大学令和2年度入学者選抜結果情報。広島大学高大接続・入学センター分析資料。志願者に占める割合は、共通試験を課す募集単位の志願者の合計から算出している。

表3 みなし満点方式に申請した志願者（入試日程別）

	申請者数	志願者に占める割合
一般前期日程	244	5.6%
一般後期日程	179	8.0%
A O・推薦	25	6.3%
合計	448	6.4%

出典：広島大学令和2年度入学者選抜結果情報。広島大学高大接続・入学センター分析資料。

表4 みなし満点方式に申請した志願者（学部別）

	申請者数	申請者に占める割合
A学部（理系）	112	25.0%
B学部（文理融合）	64	14.3%
C学部（文系）	57	12.7%
D学部（理系）	39	8.7%
E学部（文理融合）	36	8.0%
F学部（理系）	35	7.8%
G学部（文系）	22	4.9%
H学部（理系）	18	4.0%
I学部（理系）	17	3.8%
J学部（文系）	17	3.8%
K学部（理系）	16	3.6%
L学部（理系）	15	3.3%
合計	448	100%

出典：広島大学令和2年度入学者選抜結果情報。広島大学高大接続・入学センター分析資料。学部は申請者数の降順に記載。

## 2.2 方法

はじめに、申請した志願者（n=448）の出身高校所在地都道府県別の状況を確認する。

次に、申請した志願者（n=448）の共通試験・英語の得点状況について、全体、および合格者と不合格者別に検討する。

最後に、申請した志願者（n=448）の共通試験・英語の得点と個別試験・英語の得点との間に相関関係が見られるのかどうかについて確認する。

## 3 結果

### 3.1 都道府県別の申請状況

申請した志願者（n=448）の出身高校所在地都道府県別の状況について、志願者全体と比較したのが表 5 である。広島県内から申請した志願者が最も多かった点は志願者全体と同様だが、割合を見ると、志願者全体に占める広島県内の割合は 27%、みなし満点方式に申請した志願者の割合は 35%と、約 8 ポイントみなし満点方式に申請した志願者の割合が高くなっている。また、兵庫県と鹿児島県から申請した志願者が志願者全体と比べて 2～3 ポイント程度高くなっている。一方、志願者全体では 7%を占める福岡県や 5%を占める大阪府から申請した志願者は 3 ポイント程度低い結果となった。

### 3.2 共通試験・英語の得点状況

申請した志願者（n=448）の共通試験・英語の得点状況を一覧にしたのが表 6、得点分布で示したのが図 1 である。200 点満点に換算した場合の平均点は 169.8 点であり、得点率で見ると約 85%という結果となった。また、最高点と最低点を見ると、最高点はほぼ満点の 198 点であったのに対し、最低点は 93 点と得点率が 50%に達しておらず、最高点と最低点の得点差が 100 点以上あった。

次に、申請した志願者（n=448）を広島大学の入学者選抜による合格者と不合格者に分け、それぞれの得点状況と得点分布を一覧にしたのが表 7 と図 2 である。平均点は、合格者 172.1 点、不合格者 168.4 点となり、大きな差は見られなかった。一方、標準偏差を見ると、合格者 12.7 に対し不合格者が 17.9 と、5 ポイント以上不合格者の方が大きかった。得点率 70%未満の人数が、合格者においてはほとんどいなかったのに対し、不合格者では複数いたため、不合格者の標準偏差が合格者よりも大きくなっている。

表 5 みなし満点方式に申請した志願者  
(出身高校所在地都道府県別)

志願者全体 (共通テストを課す募集単位)			みなし満点方式に 申請した志願者		
都道府県	志願者数	割合	都道府県	申請者数	割合
広島	1887	27%	広島	155	35%
福岡	477	7%	兵庫	39	9%
兵庫	467	7%	鹿児島	26	6%
大阪	368	5%	福岡	17	4%
愛知	256	4%	山口	15	3%
山口	246	4%	東京	14	3%
岡山	232	3%	宮崎	14	3%
香川	218	3%	岡山	13	3%
愛媛	207	3%	大阪	11	2%
鹿児島	198	3%	愛媛	10	2%
京都	164	2%	大分	10	2%
東京	153	2%	京都	9	2%
大分	148	2%	徳島	9	2%
長崎	147	2%	島根	9	2%
静岡	130	2%	沖縄	9	2%
熊本	125	2%	静岡	7	2%
宮崎	110	2%	鳥取	7	2%
その他	1482	21%	その他	74	17%
合計	7015	100%	合計	448	100%

出典：広島大学令和 2 年度入学者選抜結果情報。広島大学高大接続・入学センター分析資料。

表 6 みなし満点方式に申請した志願者  
共通試験・英語の得点状況 (200 点満点換算)

人数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
448	169.8	198	93	16.2

出典：広島大学高大接続・入学センター分析資料。

表 7 みなし満点方式に申請した志願者  
共通試験・英語の得点状況・合格別 (200 点満点換算)

	人数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
合格者	169	172.1	196	125	12.7
不合格者	279	168.4	198	93	17.9

出典：広島大学高大接続・入学センター分析資料。

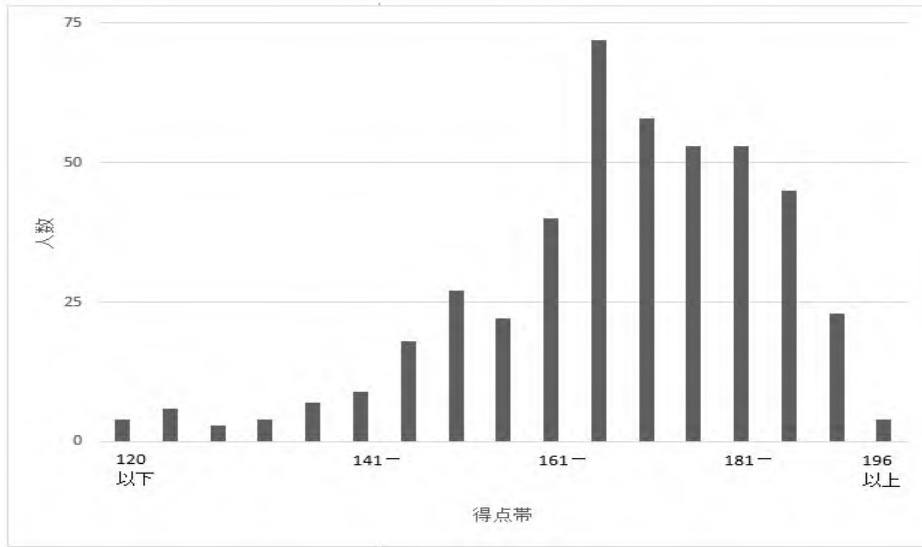


図1 みなし満点方式に申請した志願者 (n=448) 共通試験・英語の得点分布

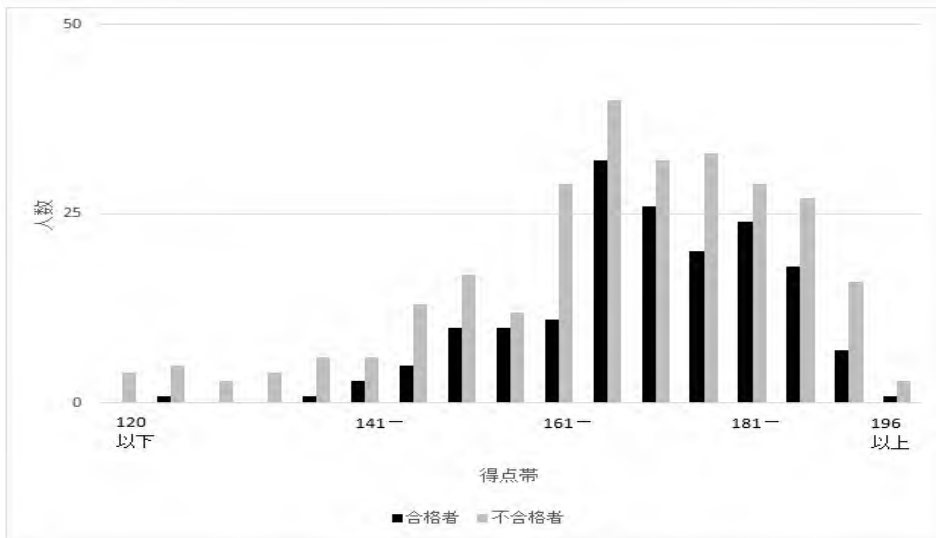


図2 みなし満点方式に申請した志願者 (n=448) 共通試験・英語の得点分布 (広島大学入学者選抜による合否別)

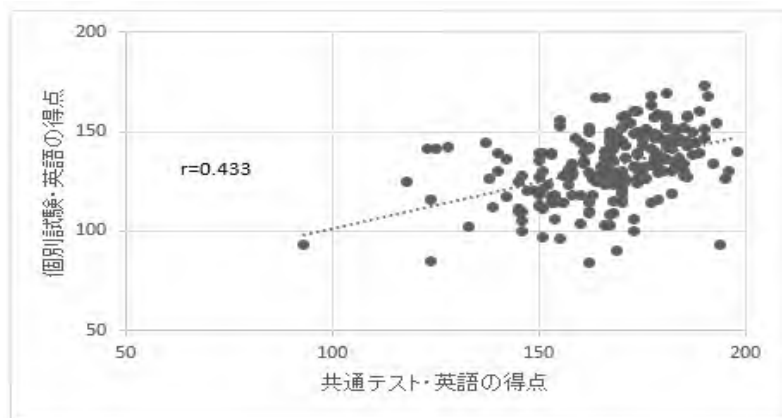


図3 みなし満点方式に申請した志願者 (n=219) 共通試験・英語の得点と個別試験・英語の得点との関係

### 3.3 個別試験・英語の得点状況

次に、申請した志願者（n=448）の個別試験・英語（n=219）の得点状況を一覧にしたのが表 8、合格者と不合格者に分けて一覧にしたのが表 9 である。200 点満点に換算した場合の申請した志願者全体の平均得点は 132.6 点、標準偏差は 16.9 であった。一方、合格者と不合格者に分けた場合、平均点は合格者が約 15 点高く、標準偏差もやや小さい結果となった。

表 8 みなし満点方式に申請した志願者  
個別試験・英語の得点状況（200 点満点換算）

人数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
219	132.6	173	84	16.9

出典：広島大学高大接続・入学センター分析資料。

表 9 みなし満点方式に申請した志願者  
個別試験・英語の得点状況・合否別（200 点満点換算）

	人数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
合格者	119	139.4	173	103	14.7
不合格者	100	124.5	168	84	16.0

出典：広島大学高大接続・入学センター分析資料。

### 3.4 共通試験・英語と個別試験・英語との関係

最後に、申請した志願者（n=448）の共通試験・英語の得点と一般前期日程における個別試験・英語（n=219）の得点との間に関係性が見られるのかどうか確認した。図 3 は共通試験・英語の得点と個別試験・英語の得点の関係を示している。相関係数は 0.433 [0.319, 0.535] と中程度の相関関係が見られた。少数ではあるが、共通試験・英語の得点率と個別試験・英語の得点率がともに 50% に満たない者が存在した。

## 4 考察とまとめ

設定した二つの問いの検証を踏まえ、英語民間試験における共通試験・みなし満点方式導入の効果と課題について検討したい。

まず、申請した志願者（n=448）の出身高校所在地都道府県別の割合を志願者全体の出身高校所在地都道府県別の割合と比較した場合、最も志願者が多い広島県から申請した志願者が 35% と志願者全体の割合よりも 8% 程度上回っていることから、2020 年度入試の場合、少なくとも広島県内からの志願者については、みなし満点方式が出願行動を促進する働きをもたらしたことが考えられる。また、本学と同様のみなし

満点方式、もしくは、みなし満点方式に準じた活用をする国立大学が所在する都道府県からの志願者は、みなし満点方式に対する認知度の高まりから、みなし満点方式を採用する大学を、併願や志望変更先など、出願の候補校に組み込むインセンティブが働いていたことが考えられる。2020 年度入試については、鹿児島県から申請した志願者の割合が 6% と志願者全体の割合と比較して 3% 高いことがあげられる。

一方、地方と比較して複数の英語民間試験の受験機会を多く確保しやすい東京や大阪などの大都市を有する都道府県から申請した志願者の割合については、志願者全体と比較して高くなってはいるとはいえない結果となった。現時点では、本制度が、大都市圏の受験生にとってのインセンティブとはなっていないことが考えられる。

次に、もう一つの問いである申請した志願者の共通試験・英語の得点状況について検証する。申請した志願者の平均点は、169.8 点と、満点に近い得点率と本稿で定義した 90% には届かなかったものの、約 85% の得点率となった。また、90% 以上の得点を取った者も 133 人 (30.0%) いた。したがって、平均点から見た場合、みなし満点制度に申請した志願者の多くは、英語を得意とする受験生とみなすことができるだろう。しかし、得点分布を見た場合、問題点も散見される。それは、ほとんどが不合格者ではあるものの、共通試験・英語の得点率が 70% を下回る者が 17 人 (3.8%) と、少数ではあるが存在していることである。竹内(2018)が「英語民間試験の基準をクリアした者は、その後、英語以外の教科・科目を集中的に学習することが予想されるため、英語については直前の試験対策をしないことが考えられる」と述べているように、みなし満点制度の場合、満点となる基準をクリアした時点以降、共通試験・英語の試験準備をしなくなるのはごく自然のことであるといえる。もちろん、大学で学ぶための英語力が備わっていれば問題はないと考える立場もあるだろう。しかし、共通試験・英語の得点率が例えば 70% を下回った場合、個別試験の英語の得点率も 60% を下回っている者が複数いることは事実である。また、共通試験の直前期に英語の学習を行わないことは、高校の英語教育に対してマイナスの効果を生み出す可能性が考えられ、今年度と同様の傾向が続くのかどうかを次年度以降の入試で注視していく必要がある。

最後に、申請した志願者の共通試験・英語の得点差が大きかった可能性として、申請された試験団体別の得点状況から検討したい。表 10 が示す通り申請した

志願者の 95%にあたる 426 人はA社の検定（テスト）結果を申請しているため、他の試験団体との対等な比較はできない。しかし、B社、C社の検定（テスト）は人数が少ないものの、共通試験・英語の最低点がA社の検定（テスト）と比べて高く、標準偏差が小さい傾向が見られる。この点については、サンプルサイズの問題から、次年度以降の結果の検証の積み重ねが必要となるが、特に、C社の検定（テスト）は一般的に大学入学後の留学のための試験としても活用されており、今後、仮に受験料や受験できる地域の問題が改善され利用者が増加すれば、大学入学者選抜と入学後の双方のデータを活用できる可能性が考えられるだろう。

表 10 共通試験・みなし満点方式に申請した志願者試験団体別 共通試験・英語の得点状況 (200 点満点換算)

	申請者数	申請者に占める割合	平均	最高点	最低点	標準偏差
A社	426	95%	169.5	198	93	16.4
B社	11	2%	167.4	195	145	13.2
C社	5	1%	189.0	195	182	6.4
その他	6	1%				
合計	448	100%	169.8	198	93	16.3

出典：広島大学高大接続・入学センター分析資料。

英語民間試験の活用は、現時点で、広島県外よりも広島県内の志願者に対して、出願のインセンティブとなっている傾向が窺える。また、共通試験・英語の平均得点率から見て、高い英語力を有する人材を獲得する手段として効果をもたらしていると考えられる。一方で、大学は、制度設計に際しては、高校の学習指導要領に基づく英語教育への影響や受験生の経済状況、地域格差についても配慮しなければならない。また、一大学だけでなく、複数の大学の実施事例から多角的に分析することで、効果と課題を具体化し、今後の活用の方向性について検討していく必要があるだろう。

## 注

- 1) 例えば、英検の場合、準1級合格以上。ただし、試験会場が、学校や自宅等に限定され公開会場を設置していない等の英語民間試験団体の検定（テスト）は対象外としている。
- 2) 2021 年度入試の場合、2018 年4月以降に実施され、出願期間最終日までに成績証明書等を提出することができる検定（テスト）を有効としている。詳細は、広島大学令和3（2021）年度入学者選抜に関する要項に記載。

## 参考文献

- 中央教育審議会（2014）.『新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について～すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために～（答申）』2014年12月22日 7, 14-16.
- 教育再生実行会議（2013）.『これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）』, 平成25年5月28日<[www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaizei/pdf/dai3\\_1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaizei/pdf/dai3_1.pdf)（2020年7月30日）
- 文部科学省（2001）.『英語指導方法等改善の推進に関する懇談会（報告）』, 平成13年1月17日 <[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/018/toushin/010110.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/018/toushin/010110.htm)>（2020年7月31日）
- 文部科学省（2016）.『高大接続改革の進捗状況について』, 平成28年8月31日<[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/28/08/1376777.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/08/1376777.htm)>（2020年7月30日）
- 文部科学省（2019a）.『大臣メッセージ（英語民間試験について）』令和元年11月1日, <[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/1422381.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/1422381.htm)>（2020年7月30日）
- 文部科学省（2019b）.『大学入試英語ポータルサイト』令和元年10月9日, <[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/koudai/detail/1420229.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/koudai/detail/1420229.htm)>（2020年7月30日）
- 杉原敏彦・永田純一・高地秀明（2019）.「国立大学の入学者選抜における英語外部検定試験の活用について」『大学入試研究ジャーナル』**29**, 234-238.
- 竹内正興（2018）.「共通テストへの英語民間試験導入が受験生に与えた影響—B大学の事例からの検討—」『大学入試研究ジャーナル』**28**, 187-192.